



北秋田市内の各地でクマの出没や人身被害が増えています。クマは本来、11月から12月中旬にかけて冬眠に入る動物ですが、冬眠しそこない、空腹から凶暴化する「穴持たず」と呼ばれるクマもいるようです。家のまわりにクマを寄せ付けないよう、引き続き十分に注意しましょう。

クマを寄せ付けないために

- ✓ **生ゴミや野菜・果樹・米ぬか**を外に放置しない
- ✓ **木の伐採や草刈り**で見通しのよい環境をつくる
- ✓ **収穫物収納庫**はきちんと**施錠**する
- ✓ **鈴、笛、スマホ、ラジオ**などで**音を立てる**
- ✓ **単独行動**を避ける
- ✓ **小グマ**を見たら立ち去る ※近くに**母グマ**がいる可能性があります
- ✓ **こまめに周囲を確認** ※**早朝や夕方**は特に注意
- ✓ **クマが出没した場所を確認**する

もしもクマに遭遇してしまったら…

あわてない

走って逃げない

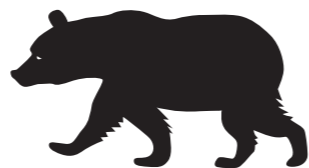
クマも驚いている クマは逃げるものを追いかける

目をそらさずゆっくり後ずさり **さわがない**

クマから少しずつはなれよう クマを刺激しない

見かけた際は
こちらまで

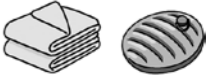
【問い合わせ先】
農林課林業振興係 ☎62-5517
北秋田警察署 ☎62-1245



防災かわら版

第11回 冬の停電に備える

冬に停電が発生すると、明かりはもちろん暖房機器の多くが使えなくなってしまいます。暖をとれなくなると状況によって命にかかわる危険があるため、日頃の備えが大切です。



- ① **暗い時間の停電に備えた明かりの確保を**
暗がりや不安な気持ちを落ち着かせて行動するため、非常用の懐中電灯、ランタン、電池などを備えておいてください。ろうそくなど火を使う照明は、使用中に目を離すことができず、火災の危険があるため、使う際には特に注意が必要です。
- ② **電気がなくても暖をとるための準備を**
石油ストーブ、湯たんぽ、使い捨てカイロ、毛布など、電気を使わない防寒用品の準備をしてください。最近ではカセットボンベを使うストーブも市販されています。ボンベは長期保管(7年)でき、コンロと燃料を共用できるため、灯油を使わない家庭でも備えが容易です。使用の際は、火災や一酸化炭素中毒に注意してください。
- ③ **お湯をわかすカセットコンロとボンベの用意を**
お湯は暖かい飲み物、食品の温め、湯たんぽ、消毒などに使用できます。段ボール箱に大き目のポリエチレン袋をかぶせて食品の温めに使ったお湯を注げば、足湯で体を温めることもできます。災害時に備えるボンベの本数の目安は、1週間で1人6本程度との試算もありますが、気温や家族構成で必要な数が変わってきます。

☎ 総務課危機管理係 ☎62-6602

災害時の備えはできていますか？ 防災ラジオを設置しましょう！

「防災ラジオ」とは、Jアラートによる緊急地震速報や国民保護情報、災害時の緊急情報などのほか、平常時には市からのお知らせを市民の皆さまにお届けするためのラジオです。北秋田市に転入された方や、まだお持ちでない方は、災害時の備えとしてぜひお申し込みください。

●貸与の対象

- ①市内に住所を有しており、居住している世帯の世帯主
- ②市内に住所を有する事業所

●貸与台数

1世帯および1事業所あたり1台

●申込方法

総務課危機管理係または各総合窓口センター・出張所で申し込みを受け付けています。

※聴覚障害を理由として、身体障害者手帳の交付を受けている方の属する世帯へは、文字表示機能付き防災ラジオを用意しています。



普及率
75.9%!!

◀現在使用されている方へお知らせ▶

■電池ランプが点滅していませんか？

電池がなくなってくると電池ランプが赤く点滅するので、その際は新しい電池に交換してください。古い電池をそのままにすると液漏れが発生し、故障の原因となりますので、定期的な点検と電池交換をお願いします。

■定時の時報は鳴っていますか？

毎日6時、12時、17時、20時に時報が流れます。時報が鳴らない場合や「故障かな」と思った時は防災ラジオコールセンター(☎0120-388-280)または危機管理係(☎62-6602)までご連絡ください。

■転居する場合

市外へ転居する場合はラジオを返却してください。また、市内で転居する場合は「変更届」の手続きとラジオ本体の設定変更が必要になりますので、危機管理係までご連絡ください。

☎ 総務課危機管理係 ☎62-6602